

赤松智城 あきまつ ちか 宗教學者、文學博士。明治十九年十一月二十一日山

口縣生れ、昭和二十五年二月十一日歿（六六―九六）。赤松通城の孫。

明治四十一年京都帝國大學文科大學卒。大正四年宗教研究會を興し、

翌年機關誌『宗教研究』を創刊。龍谷大學、京城帝大、高野山大學各

教授歴任。評論家赤松克麿、赤松常子の子。

編書、赤松智薩遺著『尚白齋詩集』（抄輯、昭和十二年四月十一日山

口・自刊）等。